「現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究」部門

2017年4月25日（火）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

吉野ヒロ子（帝京大学専任講師）「インターネット世論と災害」

2017年5月24日（水）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

田所承己（帝京大学専任講師）「コミュニティ・カフェとその諸相」

2017年7月15日（土）　早稲田大学11号館604教室

【共催】シンポジウム“The Quest for Socially and Culturally Diversed Society”「社会的・文化的に多様な社会を求めて」

＊リスク共有型社会研究所との共催

Part One

司　会：大平章（国際教養学術院）

報告１：Julian Manning (Professor, Nihon University) “The Uses and Abuses of Culture – Ethnonationalism and Multiculturalism”

報告２：Raul Garicia Sanchez (Lecturer of Sociology of Sport at the Universidad Europea in Madrid) “Civilizing – Decivilizing and Formalizing – Informalizing Balances in the Development of Jpanese Material Traditions”

Part Two

司　会：和田修一（文学学術院・研究部門研究員）

報告３：岡本智周 （筑波大学）「文化統合装置としての学校歴史教育について－リスク共有型社会研究所での活動を通して見てきたもの」

報告４：小藪明生 （早稲田大学）「社会参加や人間関係形成と治安意識、信頼、格差－社会関係資本にもとづく日本全国データ分析から」

2017年7月15日（土）　早稲田大学33号館第１会議室

【共催】研究部門研究会「地域社会の共同性の再構築をめぐって」

船戸修一（静岡芸術文化大学）「地域社会の共同性の再構築に向けて－大会シンポジウムの成果と課題」

田中志敬（福井大学）「地方の抗い－福井市中心市街地の取り組みを事例として」

2017年7月19日（水）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

柄本三代子（東京国際大学准教授）「食とリスクコミュニケーション」

2017年9月9日（土）、10日（日）　早稲田大学31号館・36号館

【共催】日本都市社会学会大会

＊日本都市社会学会との共催

１日目〔自由報告部会Ⅰ〕

司会：上野淳子（桃山学院大学）

報告１：金銀恵（日本学術振興会外国人特別研究員・一橋大学大学院）「韓国のジェントリフィケーションを再考する」

報告２：丸山真央（滋賀県立大学）「大都市都心部のマンション住民の社会・政治意識――ジェントリフィケーション論の観点から」

報告３：栗原真史（一橋大学大学院）「地価高騰下における「住民」の解体と再編――バブル期・東京都心の住宅政策を事例に」

報告４：武田尚子（早稲田大学）「近代東京における軍用地形成の歴史的要因――青山・千駄ヶ谷の土地利用の変遷」

１日目〔自由報告部会Ⅱ〕

司会：原田　謙（実践女子大学）

報告１：有末　賢（亜細亜大学）「都市社会学にとってのソーシャル・イノベーション」

報告２：関口英里（同志社女子大学）「地方都市の産業発展にむけて――地域連携型プロジェクト教育の実践と成果」

報告３：吉田愛梨（首都大学東京大学院）「大都市圏に居住する中高年女性を取り巻くサポート提供主体の検討」

報告４：成田　凌（首都大学東京大学院）「世代と移動に着目した人口分析」

１日目〔ラウンドテーブルⅠ　都市／ストリート〕

司会：五十嵐泰正（筑波大学）、下村恭広（玉川大学）

１日目〔ラウンドテーブルⅡ　都市／社会運動〕

司会：文　貞實（東洋大学）、鈴木久美子（常葉大学）

２日目〔自由報告部会Ⅲ〕

司会：北川由紀彦（放送大学）

報告１：町村敬志（一橋大学）「イベントスペース」形成をめぐる対立・紛争と価値創発性――東京イベントスペース分析2017①」

報告２：辰巳智行（一橋大学大学院）「都市の再編成とイベントスペースの分析――東京イベントスペース分析2017②」

報告３：長島祐基（一橋大学大学院）「社会運動における人が集う場所：現代の公共空間に関する一考察――東京イベントスペース分析2017③」

報告４：高橋絢子（一橋大学大学院）「エンタテイメントシティ」における、見えづらいバックストリート――東京イベントスペース分析2017④」

報告５：小股　遼（一橋大学大学院）「〈空〉間が〈生〉間になるとき――東京イベントスペース分析2017⑤」

２日目〔自由報告部会Ⅳ〕

　司会：山本かほり（愛知県立大学）

報告１：藤代将人（専修大学大学院）「エスニックメディアとエスノサバーブ性――厚木市とその周辺における日系ブラジル人パイオニアによる事業展開を事例に」

報告２：○丹部宣彦（名古屋大学）、ハヤシ・ブルーノ（名古屋大学大学院）「豊田市保見団地における日系ブラジル人定住層と集合行為――生活ニーズと社会的ネットワーク形成をめぐって」

報告３：高畑　幸（静岡県立大学）「東海地方における外国人労働者の「逆転現象」――静岡県焼津市の事例」

報告４：徳田　剛（大谷大学）「地域国際化協会の現況と課題――“国際交流”と“多文化共生”のはざまで」

２日目〔シンポジウム〕

コミュニティ論のモダンパラダイム再考――日本の近代とアジアの現代

　報告者：室井研二（名古屋大学）、新田目夏実（拓殖大学）、菱山宏輔（近畿大学）

討論者：阪口毅（中央大学）、黒田由彦（椙山女学園大学）、佐藤裕（都留文科大学）

司会者：松宮朝（愛知県立大学）、丸山真央（滋賀県立大学）

2017年10月16日（月）　早稲田大学39号館第5会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

野坂真（早稲田大学助手）「岩手県大槌町における住宅再建後の課題――災害復興公営住宅入居者調査の結果から」

2017年11月20日（月）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

松村治（早稲田大学招聘研究員）「福島からの被災者のウェルビーイング調査から見えてくるものとアンケート調査の難しさについて」

2017年12月8日（金）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

小林秀行（明治大学専任講師）「災害復興の描き方に関する研究―復興の目標像を紡ぐことの意義」

2017年12月23日（火）　早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

＊シニア社会学会との共催

伊藤勝（江戸川大学理事）「身を守る教訓とまず行うこと―“Scientific Knowledge in Seconds & First Actions Explained in an Instant”の作成について」

2018年3月17日（土）　早稲田大学33号館第1会議室

【共催】第４回シンポジウム「あれから7年～わたしたちはフクシマを忘れない―首都圏への長期避難

＊シニア社会学会「災害と地域社会」研究部会共催

司会：

　長田攻一（シニア社会学会理事、「災害と地域社会」研究会座長）

　松村治（新宿NPOネットワーク協議会理事、早稲田大学地域社会と危機管理研究

　　　　　所研究員）

報告者：

大坊雅一（東雲住宅避難者自治会「東雲の会」事務局長）

佐藤恒富（NPOかながわ避難者と共にあゆむ会事務局）

西城戸誠（NPO法人埼玉広域避難者支援センター代表理事、法政大学人間環境学部教授）

コメンテータ：

　川副早央里（早稲田大学文化構想学部現代人間論系助手）

　伊藤まり（福島県浪江町民）

　浦野正樹（早稲田大学教授、早稲田大学人文科学総合研究センター＜現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究＞部門代表）

2018年3月23日（金）　早稲田大学33号館第1会議室

【共催】第４回災害問題研究交流会

＊シニア社会学会「災害と地域社会」研究部会共催

第１セッション（津波被災地における災後の社会課題の推移）

第２セッション（原発事故をめぐる社会的推移と対応課題）

　　第３セッション（災害時の自治体―住民―ボランティア活動の連携の可能性

第４セッション（災害と社会との対話の諸相）